

1. アルゴリズム探究

プログラム言語である、「Visual Basic for Application」または「Python」を活用して、基本的なプログラムから、高度なアルゴリズムを組み込んだプログラムを作成する知識と能力を身に着けることを目標とします。また、情報社会に関する基礎的な知識や論理的な思考方法について学習し、社会人として必要なリテラシーを身に付けます。

2. 起業探究 ―五商ショップ―

これまで学習した商業科目の知識と技術を活用し、実際に「五商ショップ」を起業・経営することで、自発的に課題を見つけ、解決する力を身につける講座です。令和3年度より、株式会社JR中央線コミュニティデザイン様の協力で、国立駅に実際に出店し販売実習を行っています。また、一橋大学の学生と共同で販売実習を行ったり、谷保駅周辺の商店街など、地域と連携したビジネスを実践したりします。

基本的に、何をどのように販売するのかすべて生徒たちが考え、決めることになります。このような授業を経験することで、将来、ビジネスの現場で、様々な困りごとが解決できる力を身につけられると考えます。

3. ビジネスプラン探究

2年次におけるビジネスアイデアやマーケティングを基礎にして、発展させる。各自が主体的に活動することを通じて、チームワークやコミュニケーション能力を培うことを目的としています。また、STP分析・SWOT分析などを通じて、さまざまな角度からビジネスプランの分析を行います。

4. 金融経済探究

株式や金融・証券・経済のしくみについて探究する。分析手法については、基礎的な統計学的手法や経営分析を用いコンピュータを活用して分析する。具体的な金融商品、金利や外国為替相場などの動向を調査し、経済（企業財務や投資家行動など）について考えていきます。とくに金融業界について知りたい人、将来金融に関する知識を活用したい人に向けています。コンピュータを活用し、数値を用いて論理的に考えていくことを目指します。

5. 経済探究と実習

社会や経済の動きに目を向け、会社の仕組みや業績などの企業情報を収集し、企業の探究を行います。また、入社試験や入学試験にむけての時事問題のニュースを探究します。具体的には、設定したテーマについて調べ、企画書・レポートの作成、発表、校外研修（予定）などを行います。グループ学習、グループ発表なども行います。企業研究の一連の学習を通して、効果的な文書の作り方やプレゼンテーションソフトを利用した発表やディベートを通してコミュニケーション能力を高めることも目標とします。

6. 広告デザイン研究

指定したテーマにそって、課題を考え研究して、ワープロソフトを使い作品を制作し、発表を行います。コンテスト等への応募も検討しています。フォントの変更・文字の加工・図形の加工・特殊文字・行間隔など文書作成ソフトウェア活用能力を体得することに加え、ソフトの操作技術のみならず、自ら考える力と、表現する能力と総合的な創造力の発揮し、課題であるテーマに対し、広く社会の情報を集めテーマに対して探究を行い、課題を作成し発表・提出します。

7. 多文化共生探究

令和6年度は一橋大学国際教育交流センターと連携して、一橋大学で約10回の授業を実施しました。

また、JICA 東京とも連携して、JICA 市ヶ谷（地球ひろば）へ訪問および講師等を招いて多文化共生について 4 回の授業を実施しました。国際交流を通して、多文化共生の難しさについて気づき、様々な価値観の存在を尊重し、異なる背景を持つ人々と協力しながら共に生きるためのスキルを身につけます。国際交流を経験することで、世界とつながり、自身と世界の間につながりを感じ、社会人あるいは大学生としての自分の可能性を広くとらえることにつなげます。

8. 地域研究

～くにたち～ について知る。五商が根ざす国立のまちと周辺多摩地域について、調査研究・発表・グループワークなどの探究活動を行います。また、コミュニケーション能力を発揮し、地域の様々な年齢層の方々から情報を得て、ボランティア活動をととした地域調査を行います。土、日、祝日、夏休みなどにも数回の実習があります。地域活動に貢献できることが望ましく思います。

9. 時事問題 探究

テレビや新聞記事を利用しながら日々の時事問題について探究します。新聞に掲載されているニュース解説の記事を切り抜いてスクラップし、イラストや図表等を読み解きながら、記事の理解を深めます。天声人語のコラムを読み、その内容を書き写します。その作業を通じて身の回りで起きている事象や出来事に敏感になるとともに語彙力や文章力を培います。報道ドキュメンタリーの映像を見ながら政治経済の動きや、暮らしに直結する話題など幅広いテーマで学びます。

10. 消費者行動探究（専門書を読んでみよう）

「オヤジ臭対策ばっちりの化粧品」をあなたは購入するでしょうか？購入するとすればその理由は何ですか？反対に購入しないとすればその理由は何ですか？これらの問いからわかるように、皆さんが日頃目にしている商品やサービスは、すべての人に愛用されることをめざしていません。特定の誰かのために作ったり提供したりしているのです。消費者が商品を購入する理由あるいは購入しない理由を、専門書を読むことや議論することを通じて考えていくことがこの講座の目的です。そして将来、商品・サービスを提供する側になったときに活かせる考え方を学んでいきます。

11. 商業施設の出店計画探究

イオンモール動き出す…都内には、むさし村山（2006 年）、日の出（2007）、東久留米（2013）、多摩平の森（2014 年）と相次いで開業しましたが、最近 10 年 新規出店計画はありませんでした。ついに、2025 年春にイオンモール八王子 IC 北（仮称）が「次世代型複合商業施設」として開業します。

ショッピングモールは、それ自体が一つのコンセプトをもった「街」です。みなさんならどのようなコンセプトで集客装置を配置し、どんな店舗を誘致して、フロアごとに配置していきますか。現存するショッピングモールの研究を深め、みなさんなりの新しいコンセプトを持ったショッピングモールの設計図およびその考えを一つの作品として仕上げて発表、提出となります。